

モスピラン® SL 液剤

(MOSPILAN SL)

登録番号 第20641号
 種類名 アセタミプリド液剤
 acetamiprid
 殺虫剤分類 4A
 性状 青色澄明液体
 有効年限 5年、3年(5ℓのみ)

有効成分 アセタミプリド 18.0%

毒性 医薬用外劇物

危険物 第四類第3石油類(水溶性) 危険等級III ジメチルスルホキシド 火気厳禁

包装 (250mℓ×20本)×2箱、500mℓ×20本(地域限定)、1ℓ×12本(北海道限定)、
5ℓ×2本(地域限定)

■特 長

1. 液体タイプの剤型です。
2. 速やかに水に溶けるので、散布液の調製に手間がかかりません。
3. 計量が簡単にできます。
4. いやな臭いがありません。
5. 新規の骨格(ネオニコチノイド系)を持ち、作用機作が既存剤と異なるので、有機リン剤・カーバメイト剤・合成ピレスロイド剤などに効きにくくなった害虫にも有効です。
6. 幅広い殺虫スペクトルを有しています。
7. 高い活性があり、少ない薬量で長い残効性があります。
8. 速効性と浸透移行性を示します。

■適用害虫名及び使用方法

(2021年5月26日現在)

| 作物名 | 適用害虫名 | 希釈倍数(倍) | 使用液量(ℓ/10a) | 使用時期 | 本剤の使用回数 | アセタミプリドを含む農薬の総使用回数 | 使用方法 |
|---------|---|------------------|--------------|------------------|---------|--|----------------|
| かんきつ | アブラムシ類 ミカンハモグリガ コアオハナムグリ ケシキスイ類 アゲハ類 コナジラミ類 アザミウマ類 カメムシ類 カイガラムシ類 ゴマダラカミキリ成虫 ミカンバエ | 2,000 ~ 4,000 | 200 ~ 700 | 収穫14日 前まで | 3回以内 | 3回以内 | 散布 |
| | ゴマダラカミキリ | 200 ~ 400 | 30 ~ 75 | | | | |
| びわ | アブラムシ類 | 4,000 | 200 ~ 700 | 収穫前日 まで | 2回以内 | 2回以内 | 散布 |
| キウイフルーツ | キウイヒメヨコバイ | | | 収穫7日 前まで | | | |
| アスパラガス | アザミウマ類 カメムシ類 | 2,000 ~ 4,000 | 100 ~ 300 | 収穫前日 まで | 3回以内 | 4回以内 〔植付時の土壌混和 は1回以内、 植付後は3回以内〕 | 無人航空機 による散布 |
| ばれいしょ | テントウムシダマシ類 ナストビハムシ | | | 2,000 ~ 6,000 | | | |
| | アブラムシ類 | 1,000 | 25 | | | | |
| | | 64 | 3.2 | | | | |
| やまのいも | | 4,000 | 100 ~ 300 | | | 3回以内 | 散布 |


殺 虫 剤 モスピラン S L 液剤

| 作物名 | 適用害虫名 | 希釈倍数 (倍) | 使用液量 (ℓ/10a) | 使用時期 | 本剤の 使用回数 | アセタミプリド を含む農薬の 総使用回数 | 使用方法 | |
|---|---|-----------------|---|--------------|-------------|---|--|----------------|
| やまのいも (むかご) | アブラムシ類 | 4,000 | 100～ 300 | 収穫21日 前まで | 3回以内 | 3回以内 | 散 布 | |
| 麦 類 | ムギキモグリバエ | 4,000～ 6,000 | 60～ 150 | 収穫7日 前まで | 2回以内 | 2回以内 | | |
| とうもろこし (子実) | アブラムシ類 | | 100～ 300 | 収穫14日 前まで | 3回以内 | 3回以内 | | |
| 未成熟 とうもろこし | | | | 収穫前日 まで | | | | 無人航空機 による散布 |
| てんさい | テンサイトビハムシ | 200 | ペーパー ポット 1冊当り1ℓ (3ℓ/m ²) | 定植前 | 1 回 | 3回以内 〔苗床灌注は 1回以内〕 | 苗床灌注 | |
| | アブラムシ類 テンサイトビハムシ ヨトウムシ カメノコハムシ | 4,000 | 100～ 300 | 収穫3日 前まで | 3回以内 | | 3回以内 〔は種時の土壌混和 は1回以内、植付時 の土壌混和及び 定植当日までの株元 散布は合計1回以内〕 | 散 布 |
| ね ぎ | アザミウマ類 | 2,000～ 3,000 | | 収穫7日 前まで | | | | |
| たまねぎ | | 2,000～ 3,000 | | | | | | |
| 豆類(種実) (ただし、だいず、 あずき、いんげん まめを除く) | アブラムシ類 | 4,000 | | | | | | |
| だ い ず | アブラムシ類 カメムシ類 マメシクイガ フタスジヒメハムシ | 2,000～ 4,000 | | 収穫14日 前まで | | | | |
| あ ず き | ノメイガ類 | 2,000 | | | | | | |
| | アブラムシ類 マメホソクチゾウムシ | 2,000～ 4,000 | | | | | | |
| いんげんまめ | アブラムシ類 | 4,000 | | 収穫7日 前まで | | | | |
| 豆類(未成熟) (ただし、えだまめ さやいんげん、さや えんどうを除く) | | | | | | 4回以内 〔は種時または定植時 の土壌混和は合計1回 以内、散布は3回以内〕 | | |
| えだまめ | | | | | | | | |
| さやいんげん さやえんどう にんじん | アブラムシ類 | | 収穫前日 まで | 3回以内 | | | | |

| 作物名 | 適用害虫名 | 希釈倍数 (倍) | 使用液量 (ℓ/10a) | 使用時期 | 本剤の 使用回数 | アセタミプリド を含む農薬の 総使用回数 | 使用方法 |
|---------|--|-----------------|-----------------|--------------|--|--|------|
| はくさい | コナガ アオムシ | 2,000 | 100～ 300 | 収穫14日 前まで | 3回以内 | 4回以内 (粒剤の定植時までの 処理は1回以内、散布 及び定植後の株元 散布は合計3回以内) | 散 布 |
| | アブラムシ類 | 2,000～ 4,000 | | | | | |
| ブロッコリー | コナガ アオムシ | 2,000 | | | | | |
| | アブラムシ類 | 4,000 | | | | | |
| キャベツ | コナガ アオムシ キスジノミハムシ | 2,000 | | 収穫7日 前まで | 5回以内 | 6回以内 (粒剤の定植時までの 処理は1回以内、散布 及び定植後の株元 散布は合計5回以内) | |
| | アブラムシ類 | 2,000～ 4,000 | | | | | |
| だいこん | コナガ アオムシ | 2,000 | | 収穫14日 前まで | 1回 | 1回 | |
| はつかだいこん | | 4,000 | | | | | |
| かぼちゃ | アブラムシ類 | 2,000～ 4,000 | 収穫前日 まで | 2回以内 | 3回以内 (粒剤の定植時までの 処理は1回以内、散布 及び定植後の株元 散布は合計2回以内) | | |
| 茶 | コミカンアブラムシ チャノホソガ ツマグロアオカスミカメ マダラカサハラハムシ | 4,000 | 200～ 400 | 摘採7日 前まで | 1回 | 1回 | |

△ 効果・薬害などの注意 (※)

1. 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
2. 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせ調節してください。
3. てんさいに使用する場合、定植初期の幼苗に軽微な薬害を生じる場合があるので、使用濃度、および量を守って処理してください。
4. 蚕に対しては長期間毒性があるので、近くに桑園のある場合には絶対に桑葉にかからないようにしてください。
5. 無人航空機による散布に使用する場合に次の注意事項を守ってください。
 - (1) 散布は散布機種の散布基準に従って実施してください。
 - (2) 散布に当たっては散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - (3) 散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管、その他散布装置の十分な点検を行ってください。
6. ばれいしょに対して希釈倍数 1,000 倍で使用する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の速度連動式地上液剤散布装置を使用してください。
7. 使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
8. 適用作物群に属する作物またはその新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

△安全使用上の注意 

9. 医薬用外劇物。取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
10. 眼に対して刺激性があるので眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
11. 使用の際は防護マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼してください。

治療法：本剤の中毒に対しては、動物実験でL-メチオニン製剤、グリチルリチン製剤およびグルタチオン製剤の注射投与が有効であるとする報告もあります。

水産動植物への影響：水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管：密栓し、火気や直射日光をさけ、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼な場所にカギをかけて保管してください。盗難・紛失の際は、警察に届け出てください。

-
- 火災時は、適切な保護具を着用し水・消火剤などで消火に努めてください。
 - 漏出時は、保護具を着用し布・砂などに吸収させ回収してください。
 - 移送取扱いは、ていねいに行ってください。
 - 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。
-

●モスピラン S L 液剤の上手な使い方

- ①少量の水で希釈すると結晶が析出する場合があるので、所定量の水で希釈してください。

【農薬をご使用の際は】

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
 - ラベルの記載以外には、使用しないでください。
 - 小児の手の届く所には、置かないでください。
 - 空容器・空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。
-